

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
電話 (076) 222-5373番
FAX (076) 231-5156番
発行人 高松 弘明
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 2面 会員デビュー講演会
- 3面 保団連第1回代議員会
- 4面 保険審査通信
- 5面 おサル先生の在宅医療入門
- 6面 歯科メールニュース創刊
- 7面 訪問歯科ポータルユニット
- 9面 新シリーズ・視能訓練士

今月の会員数/960人(医科692人・歯科268人)



上越市で開かれた第40回保団連北信越ブロック会議

第40回保団連北信越ブロック会議 北信越各県代表30人が集い 健保法改正案を中心議題に

六月十六日、新潟県上越市内で開かれた第四十回保団連北信越ブロック会議に、室生昇保団連会長、高久隆範同副会長はじめ、北信越各県から役員・事務局三十人の参加があった。石川協会からは高松弘明会長、井沢宏夫副会長、平田米里理事、神田順一事務局長が参加した。

今回のブロック会議は、六月十四日に衆院厚生労働委員会にて健保法改正案が与党単独で強行採決された直後の会合であり、医療抜本改革に反対した保団連・保険医協会の活動や、四月の診療報酬改定の問題点と再改定を求める運動等について、熱心な討議が行われた。

次にブロック会議医科・歯科分科会の参加者印象記を掲載する。

歯科分科会

社会保障の意義を踏まえ 総合的政策づくりを

理事 平田 米里(野々市町・歯科)

保団連副会長の高久高範「か初診」への誘導の意味氏の問題提起をもとに議論された。主要テーマとなったのは、①経済誘導による

との認識で一致した。また、健保史上初の大幅なマイナス改定により、医療経営という格調あるものでなく、生活ができるか否かのレベルにまで困窮してきた現状打開に向けて、社会保障とはいったい何かを踏まえたいという、総合的政策、診療報酬の対案を国民に広く提案することが必要であると提案された。ぜひとも、保険医協会の英知を結集して二年のタイムリミットを持って立案すべきだとの高久氏の檄が飛んだ。

小泉政権の目指す医療分野の規制改革メニューに絡んだ歯科診療への影響については、七月に予定されている夏季セミナーにおける学習会や検討を踏まえて、さらに宣伝する必要があるとされた。

「か初診」への誘導の意味氏の問題提起をもとに議論された。主要テーマとなったのは、①経済誘導による患者の権利の侵害、献身的歯科医の意欲をそぐことが懸念され、今後の保険者の対応が明らかになり次第、的確な対応をする必要があることが印象的だった。

最後に富山協会から、保団連・保険医協会の運動で改悪を阻止、遅延させた運動も多い。それらをフィードバック的に会員に報告を返しながら、さらに推し進めるとの決意表明がされた。

医科分科会

国民を裏切った 日医副会長発言

副会長 井沢 宏夫(金沢市・内科)

保団連中事務局長次長が、問題提起しながら討論が進んだ。四月診療報酬改定後の問題としては、再診料や外来診療料の削減の導入、老人外来総合の十月廃止、手術料への施設基準導入や主

傷病区分問題が取り上げられ、医療の規制改革として、

青柳日医副会長の健保法改正案「容認」発言に抗議!

石川県保険医協会は、青柳日医副会長の「容認」発言に対し以下の抗議文を送るとともに、日医執行部が最後まで反対姿勢を堅持するよう全会員にFAX要請を呼びかけた。

日本医師会
会長 坪井栄孝 殿

2002年6月20日
石川県保険医協会
会長 高松弘明

6月11日の衆院厚生労働委員会の参考人質疑で、青柳副会長が健保法等改正案について、「問題があるが成立させるべき」と態度表明したことは絶対に容認できません。これ以上の患者負担増は国民皆保険制度の崩壊につながると「同法案の成立に断固反対する」と発表した4月23日の声明にも明らかに反しています。これでは国民に開かれた医師会への途を完全に閉ざすことになります。

今後、同法案の審議は参議院に移りますが、日本医師会が最後まで健保法等改正案に反対の姿勢を堅持するよう、強く要請します。

医心凡語

小泉首相の「構造改革」の一つである健康保険法等改正案が衆議院を通過して、現在、参議院での審議が続けられている。参議院で可決成立すると、来年四月から社保本人の三割負担ならびに本年十月からの七十歳以上の一割完全定率負担も導入されることになっている。

現在の危機的な財政状況の中で医療費の患者負担増はますます疾病の重症化を招き、総医療費の増大に苦しむことになる。さらに一〇〜二五%の保険料引き上げが国民生活を圧迫することは火を見るより明らかである。

医療のIT化の問題が次第に間近なこととなってきているが、「医療の標準化」や「営利化」などを批判するだけでは流れに抗しがた「情報開示や公開」とも考えあわせ、患者にどのようなメリットがあるのかという観点から考えねばならないという発言が聞かれた。

健保法改正案が六月二十一日に衆議院を通過し、参議院で審議される段階をむかえたが、衆議院を通過するにあたり、日本医師会の青柳副会長の「おおむね成立賛成」発言の影響は大きい。日本医師会の会員や地

方組織に対する背任であり、反対署名した多くの国民に対する「裏切り」行為である。日本医師会に対する抗議が必要である。今後、各県選出の国会議員にも、個別に健保法改正案反対の働きかけをしなければならぬ。

高齢者医療制度や介護保険料引上げ反対、消費税率引上げ反対をも視野に入れた運動していくことが強調された。

今回の主催者の富山協会に強く抵抗し患者主体の運動を前面に出して国民とともにこの悪法を葬らねばならない。

● 第三回 会員デビュー講演・シンポジウム

最新医療を臨床の場で 開業医の「これから」が見えて

理事 小川 滋彦(金沢市・内科)

六月十三日(木)金沢エクスセルホテル東急において、「第三回会員デビュー講演・シンポジウム」が開催された。

演題一は、麻酔科の松田知之氏により「麻酔科と開業」と題して、午前の外来診療後、石川・富山の病院を飛び回って麻酔をかけるバイタリティーあふれる診療形態を披露された。

第五回理事会では、衆院厚生労働委員会での健保法等改正案の強行採決と、日本医師会の青柳副会長の「健保法等改正案は成立させるべきである」と言う発言について、協会はどう対応すべきか話し合われた。特に青柳発言に関して、高松会長から「あまりにひどい背任行為であり、これまで反対署名をお願いしてきたことについて、患者さんたちはどう説明すればよいのか」と、厳しい口調での指摘があり、石川協会は保団連代議員会で、この青柳発言の撤回をテーマとして取り上げることにした。

主な報告事項として、歯科部が発刊した

第5回 理事会点描

健保改悪反対!

たくさんの議題で

(6月18日・12人出席)

「歯科の先生方にも読んでいただきたい一冊である。」

学術・保険部からは、石川県医師会から百七十

「歯周病と全身疾患研究会講演録」の注目が全国から相次いでいると報告があった。いまだに人気のある本であり、ぜひ五円以下の薬剤でも適応病名が必要と言う事務連絡に対する運動方針、六月十三日に行われた第三回会員デビュー講演の様子、七月七日の痴呆をテーマとした講演会についての準備状況が話された。さらに、「病院マップ」の進行状況や「社会保障セミナー」の企画、機関紙・文化部からは、「石川保険医新聞」八月号特別企画である「保険医協会のこれから」をテーマとした座談会についての報告があった。

今回の理事会も非常に盛りだくさんの内容で、終了した時は午後十時半を回っていた。

【牛村 記】



フロアと活発なディスカッションが行われた
左から小川滋彦理事、松田知之会員、藤本敏博会員、四十住伸一会員

豊富なデータをスライドで手際よく解説していく様子、自らが手がけた仕事であることの何よりの証しであり、また今も「胃内視鏡検査はゆっくりと十分間でも覗いていたい」という慎重さは、見落としの恐れを怖さを知り尽くした専門医ならではのものといえよう。「開業しても今までのスタイルを貫きたい」という言葉が印象的だった。

演題三は、脳神経外科の四十住伸一氏により「MRI・CTを導入しての無床診療所の開業」と題してご講演いただいた。氏はこの会のために遠路、珠洲市から参加され、協会活動がまさに全県に発信されていることを確信するものとなった。クリニックの建物や周辺の様子、液晶プロジェクトで示しながら、詳細に分析した自院の診療統計は、

先進的な画像診断を駆使した専門医療を中心に据えながらも、在宅医療など地域医療をも視野に入れた今後の展開が期待される。ディスプレイでは、電子カルテについての使用経験も話題に上り、参加者の興味を引いていた。

同日は、前回同様こじんまりと二十人余りの参加者ではあったが、開業医の「これから」を洞察するにふさわしい中身の濃い会となった。

「この難しい時代に最新医療を臨床の場で生かしていく冒険心と迫力ある姿勢に感銘を受けました」と感想を寄せられた。

保団連 第20回病院・有床診療所問題交流集会にご参加を

入院医療をめぐる現状と課題を明らかにするとともに、具体的な対応策を検討します。募集要綱は下記のとおりです。ぜひ、ご参加ください。

| | |
|------------|---|
| 主催 | 全国保険医団体連合会 |
| 日時 | 8月24日(土) ●18:30~21:00 8月25日(日) ●10:00~15:30 |
| 会場 | 大阪・サンルート梅田 |
| 参加費 | ・両日参加1人 10,000円 ・1日参加1人 6,000円 ※同一法人2人目以降は、上記より3,000円引きとなります。 ※参加者に「届出医療の活用と留意点」(2002年10月版)を呈呈します。 |

- 主な内容**
- 8月24日(土)・18:30~21:00(全体会議)
 - 基調提案 **哲翁昭邦**保団連副会長
 - 記念講演 「21世紀の医療をめぐる情勢と展望」
講師/専修大学名誉教授 **西岡幸泰氏**
 - 8月25日(日)・10:00~12:00(全体会議)
 - 医療事故防止対策学習会
講師/厚生労働省医療安全推進室医療安全専門官 **宮本敦史氏**
 - 8月25日(日)・13:00~15:30(分科会)
 - 病院分科会「中小病院をめぐる諸課題と対策」についての討議
 - 有床診分科会「有床診療所をめぐる諸課題と対策」についての討議

申し込み・お問い合わせは、石川県保険医協会へ TEL 076 (222) 5373 (8月9日しめきり。定員150人)

2002年度版 病院マップ

ただいま作成中!

会員医療機関には、八月初旬にお送りします。今しばらくお待ちください。

(8月1日発行予定)

保団連第1回代議員会

健保改悪阻止を中心に「日歯連盟」問題など、幅広く討議

理事 大平 三四郎(金沢市・歯科)



重要課題について深い討議が行なわれた保団連第1回代議員会 (6月30日・東京・都市センターホテル)

二〇〇二年度の保団連代議員会は、六月三十日、都市センターホテルにて開かれた。まず、室生会長が健保法改正案を廃案に向けての運動についての考えを示した。

ついで、代議員の発言に移り、当協会の高松会長も健保法改正案の青柳日医副会長の「容認」発言に強い憤りをぶつけ、その思いを次の言葉で言い表した。「今回の青柳副会長の容認発言はこれまで署名に協力してくれた患者・国民ならびに十五万の日医学会の背任行為であり、とうてい容認できない。五百万筆の患者署名をしてきた患者国民への重みを真摯にとらえ反対姿勢を最後までつらぬくことを要する。」

持論

健保法等改正案は、有事法制などの重要法案とともに、会期末の七月三十一日に向けて参議院で与野党の攻防が続いている。

健保法等改正案が衆議院を通過した六月二十一日、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会の三師会は共同声明を発表し、「今回の改正法案は高齢者と家計に苛酷な負担を強い、国民皆保険制度を根本から破壊するもの」と指摘し、政府・与党に対して法案の修正を強く求めている。

三師会の共同声明の後、自民党参院の医系議員を中心に、以下の修正要求が出されている。 負担は、保険料徴収の総報酬制への移行により、来年四月からこの二点の修正要求は、今回

一層の奮起で廃案へ

高齢者家計に苛酷な負担 絶対阻止！健保法案

(一) 高齢者自己負担限度額の大幅な引き上げの圧縮および上限超過額の窓口徴収方式(償還払い)を廃止すること。 (二) 被用者保険本人の三割の改正法案の根幹にかかわるものである。坂口厚労大臣は、現時点では法案修正には応じない考えだが、参院厚生労働委員会での審議を尊重する意向も強調

半数の賛同を得た。②患者団体と共同で「医療制度改革案に反対する石川いのちを守る会」を結成し、③二十六万部のチラシ署名を地元新聞に折り込み、④労働組合との共催により、二月十六日、四月十二日、六月十二日と、三回にわたり六百人規模の県民集会を開催した。⑤また、衆院厚生労働委員会における青柳日医副会長の「成立」容認発言への抗議など、多彩な反対行動に取り組んできた。

囲碁解答 (問題10面にあります) 図解: 碁盤上での駒の配置と数字(1-6)の配置を示す。解答: 黒6白Aの打交は大悪手です。

保団連医療研究集会

第17回 保団連医療研究集会 日時: 2002年10月12日(土)~13日(日) 会場: 横浜市・横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ メインテーマ: 『守ろう!市民の健康 発展させよう!開業医の医療』 分科会: 第1分科会「日常診療の工夫・医科」 第2分科会「日常診療の工夫・歯科」 第3分科会「在宅医療」 第4分科会「医学史・医療運動史」 第5分科会「公害・環境」 ポスターセッション 主催: 全国保険医団体連合会 主務地: 神奈川県保険医協会 お問い合わせ: 石川県保険医協会 TEL:076(222)5373 FAX:076(231)5156

実際の和解内容はそれだけにとどまらず、規約の改正と広報文の掲載が付加された。 さらに今後、真の意味で 歯科医師の自由意志での「連盟」の加入もしくは非加入を選択できなければならぬことも強調された。 この訴訟の当事者である 鹿見島そして福岡、滋賀、強い運動のすばらしい成果であった。

『保険審査通信』に寄せられた相談事例

<第172例> タケプロン処方についての病名診断根拠を問う返戻事例(その1)

- 1. 保険者 金沢市国民健康保険
- 2. 年齢 54歳 (男性)
- 3. 診療月 平成14年2月
- 4. 過誤調整連絡書の発行月：平成14年4月
- 5. 病名・診療開始月
胃潰瘍、十二指腸潰瘍 平成14年2月5日
- 6. 該当月の診療実日数 3日

<主治医の意見>

胃潰瘍、十二指腸潰瘍の再発を繰り返している例。13年6月の内視鏡ではA1潰瘍を認め、同年8月まで服薬。その後仕事の都合で治療を中断したが、本年2月に心窩部再発し来院。3月にタケプロン(15mg)2カプセル内服の処方に対し、病名診断の根拠を問う返戻。前年の内視鏡所見、症状、理学的所見より診断したと答えたが、5月に事由番号21Dにより、タケプロン(15mg)の減点の通知。タケプロン使用に当って画像診断が要件であるか否かは寡聞にして知らないが、少なくとも効能効果には書いてないように思います。請助言。

<第173例> タケプロン処方についての病名診断根拠を問う返戻事例(その2)

- 1. 保険者 金沢市国民健康保険
- 2. 年齢 71歳 (女性)
- 3. 診療月 平成14年3月
- 4. 過誤調整連絡書の発行月：平成14年5月
- 5. 病名・診療開始月
骨粗鬆症 平成1年7月14日
慢性咽頭炎、慢性胃炎 平成4年4月3日
末梢神経障害 平成6年9月3日
不整脈 平成12年4月18日
糖尿病 平成12年7月11日
急性腸炎(感染性)、脱水 平成14年3月1日
吻合部潰瘍 平成14年3月14日
- 6. 該当月の診療実日数 5日

<主治医の意見>

14年4月にタケプロン15mgカプセル投与に対し、診断根拠は何かという返戻。胃潰瘍で胃切除の既往、心窩部痛、胸やけ等の症状、上腹部圧痛等の理学的所見により診断したとのコメントをつけてレセプトを提出。5月にタケプロンカプセルの減点の通知。画像診断をしていないことが減点の対象になったように推察されるが、タケプロン投与にとって画像診断が必須なのか否か不詳。タケプロン投与に関係なく、病気の診断が病歴、症状、所見だけでは成立しないという論理ならば診断学などは必要なくなるでしょう。

<保険医協会のコメント>

第172例は、平成13年6月に内視鏡で胃潰瘍、十二指腸潰瘍の診断をし、2ヶ月間内服薬にて治療後中断。14年3月臨床的に再発としてタケプロン15mg2カプセルを投与したところ、診断根拠を疑う返戻あり、前年の内視鏡所見、現在の症状、理学所見より診断したと答えたがD21(投薬の不適または不必要)として査定されたものです。

第173例は、胃潰瘍にて胃切除している患者の心窩部痛、胸やけ、上腹部圧痛等の訴えに対して、吻合部潰瘍の傷病名でタケプロン投与したところ172例と同様に、診断根拠を疑う返戻があり、上記症状と経過から臨床診断したと答えたが査定されたものです。

これら2件が、主治医のいわれるように、画像診断がなされていない故の査定であるとしてコメントしたいと思います。もし、それ以外に理由があるのでしたら、審査委員会より協会宛ご一報いただきたく存じます。

最近の審査委員会の情勢として、プロトンポンプ・インヒビターを投与するときは、内視鏡検査等が必要だという意見が多いと聞き及んでいます。タケプロン投与の前提として、その都度内視鏡診断等があれば診療全体の流れとして合理的ですが、普段に内視鏡検査をしている医師にとっては、全症例での内視鏡検査が必要とは限らないのが日常診療の現状ではないでしょうか。そして、これまでの経過とその時々々の臨床症状で、しっかりと診断ができるのは、主治医ならでの医療行為です。また、タケプロンの能書を眺めても内視鏡診断等をしてなければ投与できないとは書かれていませんし、石川県医師会発行の社保・国保審査委員合同協議会結果にもタケプロン投与時の画像診断等に関する規定はありません。

胃潰瘍、十二指腸潰瘍の事例の中には、ある事例は内視鏡検査が必要でしょうし、別の事例は透視診断で終わることもあるでしょう。そして、本件のように、臨床症状のみで治療へ進む事例もあってこそ、保険診療ももっとも嫌う「画一的な診療」をしていない証拠でありましょう。

長年、患者さん全体をみてきた主治医として下した臨床診断を内視鏡検査等がなされていないということで認めないのは、審査委員会の行き過ぎた査定だといわれても仕方がないと考えます。主治医としての診断に誇りを持って再審査請求してください。

納得のいかない返戻、査定は『保険審査通信』でお知らせください

保険点数・レセプト記載についてのご質問はFAXでお願いします

「保険審査通信」は、納得のいかない返戻や査定があった場合に会員医療機関からお知らせいただき、保険医協会が『石川保険医新聞』を通してコメントを掲載しています。

今後、この返戻、査定が大幅に増えることが予想されるため、保険医協会では、組織的対応を協議しているところです。

つきましては、保険医協会にできるだけの情報が必要になってきますので、会員医療機関におかれましては、不当あるいは納得できない返戻・査定情報を保険医協会にFAXにてお送りください。

なお、保険点数・レセプト記載についての電話による質問が多発しており、対応に苦慮しております。ご質問は、基本的にFAXまたはE-mailでお願いいたします。

FAX 076 (231) 5156 / E-mail iskw-hok@doc-net.or.jp

※保険審査通信は年に数回、会員医療機関に送付していますが、紛失した場合や追加が必要な場合は、保険医協会までご請求下さい。

予防歯科学講演会のご案内

虫歯予防におけるフッ素の効果とその歯科臨床的、公衆衛生的応用

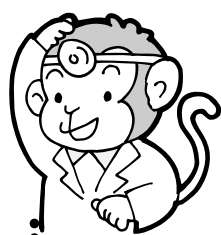
- 開催日時** 9月8日(日) ○午前9時～午後1時
- 講師** 小林 清吾氏(日本大学松戸歯学部衛生学講座教授)
- 開催場所** 都ホテル 5階 兼六の間(JR金沢駅正面、TEL 076-261-2111)
- 参加対象** 歯科医師、スタッフ、医療福祉関係者
- 参加費** 会員 500円、会員スタッフ 500円
非会員 5,000円、非会員スタッフ 1,000円

※非会員の方は、当日受付にて入会申し込みいただければ会員参加費で受講できます。

サタデー・ナイト・セミナーのご案内

本当のリスク分散とは

- 開催日時** 7月27日(土)
○午後6時半～午後8時半
- 講師** 中条紀美子氏(アリコジャパン CFP)
- 開催場所** 都ホテル 5階 能登の間
(JR金沢駅正面、TEL 076-261-2111)
- 参加対象** 会員(歯科・医科とも)、家族
- 参加費** 無料



おサル先生の
在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

『一番輝いていた時』の巻(その二)

次週の往診には、家族が自分のことをどのような気持ちで受けとめているかを「加減弁ハンドルを戻して」案しながらも、いくつもの資料を用意しておいた。世に言う「SLブーム」は昭和四十年代も後半であったため、すでに北陸線は電化が完了しており、SL時代の倶利伽羅峠の写真など撮っている人はほとんどいなかった。それでもおサル先生は貴重な数葉の写真を集めていたので、それを往診当日、持参することにした。

「先生。また父に何か鉄道の話をしてやって下さい」と息子さんが迎えてくれた。「ありがとうございます」とまた深々と頭を下げて部屋に入ると、服部さんは珍しくベッドの端にちょこんと坐っていた。
「今日はこういうものをご用意したんですよ。ご覧いただけますか？」と例の写真を取り出した。貨物列車を従えた二台の機関車が、駅を出た最初の左カーブを越えた所の写真である。しばらく首を傾げて眺めていた服部さんは「ああ、ここのところからがきついなや。ずっとふかして行くんや」「最大締切率で？」
「そう、ほとんどフルギヤ

を見た。

「空転もしたんですよ？」
「すぐに砂を撒く」
「加減弁を戻して砂を撒くんや」服部さんは自分で写真を手に取って懐かしそうに目を細め、「ここから先のトンネルまでが一仕事なんや」父親とおサル先生のやり取りを見ていた息子さんは目を丸くしてつぶやいた。「父さん……」
こうして、服部さんとおサル先生は、なんだか人間国宝とそれを取材する記者のような関係になっていった。もちろん、服部さんの言葉数が多くなったのは、胃腸栄養による体力回復もあつたのだから。服部さんの話を聞いて、おサル先生の「倶利伽羅峠研究」は単なる遺構めぐりから、リアルティーあるものへと変貌を遂げていた。しかし、それでもなお、父が見せてくれたという、トンネルに向かつて驀進する機関車の生きた姿を思い出すことはできなかった。

その年の冬は大変寒く、かぜをこじらせた服部さんは高熱が続くため、大学病院に入院することになった。それから二週間ほどしたある日、おサル先生は夢

をみた。
……気がつくと、おサル先生は峠のふもとの駅を出発する機関車の運転室の中にいた。左側の機関士席に中腰で腰掛け、高い位置から機関銃のように長く伸びた加減弁ハンドルを、ぶら下がるように手前に引いたのは、若き日の服部さんだった。溶鉱炉のように真っ赤な焚口に、石炭を片手シャベルで次々とくべているのは息子さんだった。機関車はどんどん加速して、運転室は立っていられないほど激しく揺れる。左カーブを抜けると、服部機関士は腕を伸ばし、天井から吊られたヒモを強く二回引っ張る。耳をつんざくような汽笛が短二声。それに呼応するように後方から同じく短二声。振り返るともう一台の機関車がぐいぐいと背中を押してくる。力行運転の合図だったのだ。
服部機関士は手元のリバーハンドルを回して締切率を伸ばしていく。加減弁ハンドルは一杯まで引いてあるが、排気音の間隔が次第に広がって、列車速度が落ちていくのが分かる。勾配がきついのだ。機関助手の息子さんには休む暇もなく黙々と石炭をくべ続ける。

第4回 日本褥瘡学会学術集会
特別公開講座のご案内

講師/日野原重明先生(聖路加国際病院理事長)

テーマ/床上安静の効害について改めるべきこと

日時/8月30日(金) 14:20~15:10

場所/石川県立音楽堂コンサートホール(1,500席)

※石川県保険医協会も後援しています。

お問い合わせは
金沢大学医学部保健学科看護学専攻内 TEL/FAX 076-265-2513

二台の機関車は今にも停まりそうなくらいゆっくりとした速度で倶利伽羅峠トンネルへと向かって行く。ポツポツと腹にずしりと堪える排気音。噴き上げた煙がポイラーにまとわりつく。ブーンとカマ鳴りがし、安全弁が吹く。車輪のきしむ音。

ふと運転室から外に目をやると、トンネルの上を通る国道に父親に抱かれた小さな子ども姿を確認した。ああ、あれは三歳の自分に相違ないと思った瞬間、機関車はトンネルに突入した。轟音と共に容赦なく煙が運転室に入り込む。もうもうと立ち込める煙に天井の裸電球もかすんで見えなくなると、おサル先生はそれが夢だったことに気がついた。しかし、まだしばらくは機関車の排気音のような胸の高鳴りを感じて

入院中の服部さんが深夜に肺炎で亡くなったことを知らされたのは、翌日の午前の診療を終えた時だった。

【参考資料】

『日本の蒸気機関車』ネコ・パブリッシング社、一九九四
『復活SL完全ガイド』イカロス出版、一九九九
季刊『蒸機の時代』プレス・アイゼンバーン社

指導関係の行政文書を開示請求しました!

保険医協会は6月19日、情報公開法にもつき石川社会保険事務局に指導関連資料の開示請求を行いました。当会からの開示請求は昨年5月に続き、2回目です。今後も毎年同時期に定点観測していくことにしています。
開示請求すると、1か月以内に「開示」「一部開示」「不開示」の決定が行われた後、交付されることになっています。
「開示」「一部開示」された資料は当会事務局で閲覧できます。

＜開示請求した行政文書一覧＞

- 1.平成14年度集团的個別指導対象選定のための都道府県別平均値一覧表
- 2.平成14年度集团的個別指導対象選定のための対象医療機関(高点数順)一覧
- 3.平成14年度選定委員会名簿
- 4.平成14年度選定委員会議事録
- 5.平成14年度指導大綱等の実施要領、実施方法、指導予定表、指導実施予定件数、指導日程表
- 6.平成13年度個別指導対象者の選定理由
- 7.平成13年度指導結果、指摘事項
- 8.平成13年度個別指導対象医療機関選定表
- 9.厚生労働省医療課への「平成13年度4半期指導監査実施状況報告書」

後発医薬品リスト

平成14年4月版

—先発・代表薬でさがす—

本書は、平成14年4月実施の診療報酬において点数上評価される後発医薬品(3月28日に厚生労働省が示したものを)に対応する先発医薬品・代表薬の50音順に配列して記載し、後発医薬品を同一成分の医薬品のうち先発医薬品・代表薬(内用薬・外用薬のみ)の名称から検索できます。

- ご注文は「石川県保険医協会」まで
- 発行 株式会社じほう

価格
2,800円(会員特価2,500円)
体裁
A5判・276頁

本書の記載

先発医薬品の名称、会社名、一般名、薬効分類番号、規格単位、薬価を記載し、それに対応する後発医薬品の品名、会社名、薬価を記載。
※点数上、評価されない後発医薬品および評価される後発医薬品に対応しない先発医薬品(後発医薬品をもたない先発医薬品等)、注射薬、歯科用薬剤については掲載していない。

索引

- 索引は、本文中の商品名・一般名を記載
- 商品名のあとに、その品目の一般名を記載
- 本書の掲載対象医薬品以外の内用薬・外用薬も掲載し、頁数のところに(対象外)と表記

品目の配列

- 品目は診療報酬上の後発医薬品に対応する先発医薬品の50音順に配列
- 対応する先発医薬品が存在しない、あるいは対応する先発医薬品が特定できないものは代表的な薬剤を先発医薬品相当として配列
- ※代表的な薬剤の基準
 - ①薬価の一番高い品目
 - ②薬価が同じであれば売上規模が最も大きい企業の品目
- 先発医薬品の品名の頭に、強力・濃淡等の文字が冠してあるものは、それらの文字を除いても索引できるようにそれぞれの50音の箇所に配列

「先発・代表薬でさがす後発医薬品リスト」を協会に取り扱っています。
ご注文は協会まで電話かFAXでご連絡下さい。 TEL 076-222-5373/FAX 076-231-5156

メールニュース創刊のご案内

保険医協会歯科部会では、このたび「石川協会歯科部会メールニュース」を創刊しました。

「メールニュース」とは、簡単にいえば「電子メールで届く新聞のようなもの」です。保険医協会の「メールニュース」は、医療政策、診療報酬点数その他さまざまなニュースについて、協会・保団連で入手した情報を速やかに提供することを目的に発行します。また、会員の皆さんからの投稿も積極的に募って、保険医協会のさまざまな企画・活動を生み出す源としての役割も、将来的には目指していきます。具体的には、健保法改定等の国会の動き、診療報酬に関する厚労省の新通知や歯科関連の新聞記事、保団連・保険医協会の講演会・企画等の最新情報などを掲載する予定です。多くの皆さんの購読申込みをお待ちしています。

「メールニュース」の創刊趣旨 歯科部長 平田 米里

時の流れとともに国民の意識はどんどん変化しつつあります。日本の政治経済状況の変化によるものなのか、これが自然な時代の流れというものなのかはともかく、歯科界もさまざまな変化に影響されずにはいられません。石川県保険医協会歯科部会は今までの活動に甘んじることなく、より会員の利益になる新たなサービスを目指して、その時々に適したさまざまな企画を立案実施するつもりです。今回のメールニュースサービスもそのひとつです。

そして、この企画は将来的にさまざまな企画、活動を生み出す源としての性格も内包しています。

当初は協会からの一方向的伝達システムとして出発しますが、将来的にはこれを足がかりにして、会員のさまざまな要求をすばやく的確に汲み取る機能を持たせ、それをもとに更なる企画をスタートすることを目標にしています。

多くの歯科会員の参加をお待ちします。

発行日

原則として、毎月第1、第3金曜日に発行します。重要なニュースが出たときには、随時「号外」を発行します。なお、第1号は6月21日(金)に既に発行しています。

内容

予定している内容は、当面、次のとおりです。

- ・医療改革関連ニュース
- ・歯科関連ニュース
- ・診療報酬点数の話題
- ・会員からの投稿コーナー
- ・保団連情報
- ・保険医協会からのお知らせ

購読申込み

保険医協会会員の方であれば、どなたでも購読していただけます。もちろん、料金は無料です。購読をご希望される方は、下記のメールアドレスに「メールニュース購読希望」とご記入のうえ、メールを送信してください。折り返し「既刊号」を送信いたします。

iskw_kudo@doc-net.or.jp

※上記以外の注意事項等については、購読申込みされた方に、改めてメールにてご案内します。

メーリングリスト開設のご案内

第2弾のテーマは「経営」

石川県保険医協会歯科部会では、2002年歯科診療報酬改定に関する疑義解釈や議論を行う場を提供する目的で、「メーリングリスト」(以下「ML」とします)を開設しました。このMLでは、点数関連の追加の厚労省通知や正誤、疑義解釈、また訪問歯科診療等の解釈、不合理是正等について、情報提供・議論を行い、一定の成果がありました(6月10日に終了)。

そして、このたび保険医協会では、MLの第2弾を新たに開設し7月3日からスタートさせました。第2弾のテーマは「経営」です。従業員の問題、材料の購入、収入等について情報交換して将来へ向けてともに考えていきましょう。多くの情報から知識を吸収し、有益な知恵が生まれることを期待しています。

なお、今回からMLは、参加されたすべての皆さんが積極的に発言・議論をしていく場と位置づけます。つまり読むだけの参加は原則として認めず、どんどん意見交換していただくことを参加の条件にいたします。具体的にはテーマに関連した下記のアンケート(経営アンケートと保険医協会に要望する企画等)にお答えいただくことが参加の条件となります。下記の参加方法をご確認のうえ、是非申し込みください。多くの参加者をお待ちしています。なお、MLの話題は、1テーマ3か月を目安に考えています。次のMLのテーマについても随時募集していますので、ご希望をお寄せください。

《参考》「メーリングリスト」とは

メーリングリストとは、メールを使って大勢の人とコミュニケーションすることのできるシステムのことで、ごく簡単に言うと、決まったメールアドレスにメールを送ると、参加しているメンバー全員に同じメールがコピーされて送られるしくみです。

これを繰り返すことによってメールを使った会話が進められていきます。

例えばどなたかがテーマに関連する話題をメーリングリストに送ったとします。そうするとそのメールはメーリングリスト参加者全員に自動的に送られることになります。その後、メーリングリスト参加者の中でその話題に答えられる方がいればその人がメーリングリストに返信を送付します。そのメールも参加者全員に自動的に送られるので、結果として、メーリングリスト参加者全員がその情報を共有できるということになります。

経営アンケート

- 1 材料の一部を通販で購入していますか。
ア. 購入している イ. 購入していない
- 2 歯科材料商は、
ア. 1箇所 イ. 2箇所 ウ. 3箇所以上
- 3 給料は、
ア. 年功序列(定時昇給) イ. 能力能率給(能力の時価主義)
- 4 収入増のために考えるのは。
ア. 横だしサービス(新しい分野の開拓)
イ. 上乘せ(充実を図る)

今後、保険医協会に要望する企画等

研究会・講演会のテーマや講師、保険点数に関する企画、これから企画するあるいは実施した講演会などの感想など自由に記入ください。

参加ご希望の方は…

メーリングリストに参加ご希望の方は、保険医協会事務局の工藤あてに(アドレスは下記)電子メールにてその旨を送信してください。その際には、必ず上記のアンケートにお答えください。速やかに参加登録を行います。

なお、メーリングリストの参加について、特別な費用は発生しません。通常のメールを受信するのと同じ方法で受信できます。

メーリングリスト申込先

iskw_kudo@doc-net.or.jp

訪問歯科ポータブル・ユニット 利用の先生へ

石川県保険医協会 訪問歯科ネットワーク

日頃からポータブル・ユニットをご利用いただき、ありがとうございます。

保険医協会の訪問歯科ネットワークは1997年7月に発足し、現在までに20人の歯科医師に100人以上の歯科往診を希望する患者を紹介しています。このような訪問歯科ネットワークの活動は、受診された患者はもとより、紹介元の医療機関や訪問看護ステーション等から大変感謝されています。

保険医協会ではネットワーク発足時にポータブル・ユニットを購入し、会員の便宜を図ってきましたが、この5年間にユニットを利用した先生は10人に留まっています。とくに最近ではユニットの利用者が固定する傾向にあります。

このため訪問歯科ネットワークでは、ユニットの利用度を高めるため、次の事項について検討し、利用者の皆さんにお知らせすることになりました。

何卒ご理解、ご協力くださるようお願いいたします。

記

- (1) 訪問歯科ネットワークの実績紹介とポータブル・ユニットの利用について、保険医新聞等を通じて積極的にPRすること。
- (2) 最近では軽量化したユニットが普及している。利用者が増えてくれば、将来的にはユニットをもう1台購入する必要があること。
- (3) 今後、利用者が高まることを考えると、ユニットの運搬は利用者責任を励行すること。(参考＝「ポータブル・ユニット」貸し出し申し合わせ)
- (4) バキューム・チップなどの消耗品は保険医協会で購入しておくこと。

以上

訪問歯科診療ネットワーク

ポータブルユニット貸し出しに関する申し合わせ

- ①申し込み方法(保管場所は基本的に保険医協会事務所とする)
- イ. 申し込みは協会事務局へ電話かファックスで、平日午前9時～午後5時の間に申し込む。

電話 076-222-5373

FAX 076-231-5156

- ロ. 申し込みは、借用する日の2日前までに予約すること。同日に重複する申し込みのあったときは、原則的に早い者が優先するが、相互の連絡で調整をお願いする。

- ②受け取り方法
本人または代理人(材料商)が直接協会まで受け取りにくること。前日が望ましい。

- ③返却
使用後は、キッチンと掃除クリーニングをして、直ちに返却すること。使用の翌日(休日の場合は翌々日)が望ましい。

- ④機器の紛失、過失による破損に関して
原則として、使用者の自己責任において修理または再購入すること。耐久性の問題によると思われるものは、歯科部で協議・判定のうえ、協会負担で修理する。

- ⑤所定の申し込み用紙に記入すること
申し込み用紙は、協会事務局に保管してあります。



●じん肺とは…

人類最古にして今日でも毎年1,200人を超える重症患者が認定されているという最大の職業病です。石炭、鉱山、トンネルなどの建設、造船をはじめとする製造業など多くの職場で発生しており、粉じんを吸い込むことによって起こる肺の病気です。人間の肺は、吸い込んだ粉じんを息と共に、あるいは痰として体外に出す機能があります。しかし、限界を超える粉じんを吸うと肺の中に溜まるようになり、肺は繊維化し、機能を失ってしまいます。繊維化した肺の機能は決して治らず死に至るまで進行する不治の病です。

7月27日(土) 石川県教育会館

①PM2:00～ ②PM4:00～ ③PM6:30～ / 3回上映

7月28日(日) 珠洲市立正院公民館

①PM2:00～ ②PM6:00～ / 2回上映

協力券

| | | |
|-----|-------|--------|
| 前売券 | 一般 | 1,000円 |
| | 高校生以下 | 800円 |
| 当日 | 一般 | 1,200円 |
| | 高校生以下 | 900円 |

※チケットは、どこの会場でも鑑賞できます。

【製作にあたって】

映画「人として生きる」は、じん肺によって「人として生きる」ことを脅かされた人々が、その不合理に立ち向かい、闘った人々のヒューマン・ドキュメンタリーです。

「人の命や健康を犠牲にしなから利潤をあげる日本の企業の体質」を、鋭く告発したのがじん肺闘争です。この闘いの歴史と現実を、参加してきた人々の記録、証言、法廷や記録映像を創造的に劇化します。「じん肺根絶」を勝ち取ることは、国民一人一人の人権が保障され「人が、人として生きる社会」をつくることであるという普遍性を持つ闘いであることを訴えます。

監督 片桐 直樹

主催/じん肺映画「人として生きる」上映石川実行委員会 TEL (076) 274-4844

後援/石川県教育委員会、金沢市教育委員会、珠洲市教育委員会、内浦町教育委員会、朝日新聞金沢支局、北陸中日新聞、北国新聞社、石川テレビ放送、テレビ金沢、北陸朝日放送、北陸放送

神山征二郎監督作品
ぐじょういっき

郡上一揆

日時: 8月18日(日)
午後13:00開場

会場: 石川県文教会館ホール

| | | |
|-----|-----------|----------------------|
| 前売券 | ・大人前売券 | 1,600円 (当日1,800円) |
| | ・高校生以下前売券 | 800円 (当日1,000円) |

主催/映画「郡上一揆」加賀・野々市・金沢上映実行委員会
石川映画サークル協議会(076-231-2530)
後援/北陸中日新聞・朝日新聞・読売新聞
毎日新聞・石川テレビ各社

13:35～第1部/シンポジウム「一揆と現代」

【メインパネラー】
神山征二郎(「郡上一揆」映画監督)
【その他のパネラー】
かつおきんや(児童文学者)・杉本晴介(郷土史家)
【コーディネーター】
伊勢谷 功(真宗大谷派住職)

14:40～第2部/映画「郡上一揆」
(35mmフィルム/約2時間)

●壮大なスケールで甦る江戸時代最大の農民一揆

問い合わせ先: 自宅/金 沢☎076-222-4232(板坂)
野々市☎076-248-5750(西)
加 賀☎0761-77-3065(佐藤)

長編アニメーション映画

えっちゃんのせんそう

日時 8月3日(土) (第1回上映) 14:00～15:30
(第2回上映) 16:00～17:30
(第3回上映) 18:00～19:30

場所 教育会館3階ホール

鑑賞前売券 大人・大学生/1,000円(当日1,200円)
4才～高校生/ 800円(当日1,000円)

【問い合わせ先】いしかわ県民教育文化センター (076-223-8415)
(自宅) 076-263-5659(野間)・076-251-0811(松村)・076-252-8364(榎本)
076-241-8262(村上)・076-240-0975(中崎)・076-222-4232(板坂)
0761-77-3065(佐藤)

後援/北陸中日新聞・朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・石川テレビ各社に申請中
石川県教育委員会・金沢市教育委員会等に申請中

高齢者問題世界NGOフォーラムに参加して

3回シリーズ (その3)

スペインの高齢者施設を見学

国際高齢者年・石川NGO運営委員

白崎 良明 (厚生クリニック院長/金沢市・内科)

フォーラムの前日、マドリード郊外の有料老人ホームを見学した。現地に行つてから企画されたので十分ではなかったが、スペインの高齢者の実情を垣間見ることができた。

老人ホームには公営と民営があり、訪問したホーム『太陽の谷』は株式会社運営し、入居費はバス、トイレつきの個室



マドリードの民営有料老人ホームの一室

しかし、安い公営ホームは順番待ちでなかなか入れず、お金に余裕がある人は民間ホームを選ぶので、すぐ満室になると言われた。

百四十人の入居者に対して資格を持つ二十五人のヘルパー、七人の看護師、三人の医師など百人の職員が常勤として二十四時間対応していると紹介された。リハビリ施設や美容室、カフェなどもある明るい施設だったが、北欧の施設と比較すると施設、設備、スタッフ

医療は公営で、薬剤費の四〇パーセントのみ自己負担をのぞいて無料である。六十五歳以上の高齢者は薬剤自己負担も含めて完全無料。公的医療

に対する保険料も徴収されず、労働者が負担する社会保険料は失業保険を

ばさらに検査の予約をして、一週間も待たされるのが普通のような。ここでもお金に余裕のある人は私的医療保険に加入し、自由診療を早く受けるということだった。やはり、日本のかかりやすさは最高だ。スペイン人には脳血管障害や閉塞性動脈硬化症が多いらしい。しかし、日本、フランスにつぐ長寿国である。ホームを案内してくれた現地日本人ガイドはその理由としてスペイン人は陽気でストレスを感じないせいだろうと言っていたが、なるほど、と面白く聞いた。

国際的EBM治療マニュアル 第5弾発行!

好評のガイドラインシリーズ五冊目、変換期にある薬物療法にも分かりやすく対応ができる『向精神薬治療ガイドライン』(月刊保団連臨時増刊号)が発行されました。ぜひご活用ください。

向精神薬治療ガイドライン



A5判300ページ 3,500円 会員特価 3,000円

お申し込みは... 石川県保険医協会 TEL 076(222)5373 FAX 076(231)5156 E-mail: ishikawa-hok@doc-net.or.jp

早川ドクターの 山三昧



【第5話】 笈ガ岳(おいずるがだけ)

早川 康浩(金沢市・内科)



笈ガ岳山頂にて...このあと山スキーにて山頂から滑り降りた



冬瓜山...難所の一つ、山頂はナイフの刃のように切れ立っている



シラタカ山から見る笈ガ岳...雄大な姿が一層登行意欲を駆り立てる

県内で登頂が最も困難な山はどこであろうか。白山だろうか、はたまた別山だろうか。否、それは笈ガ岳(標高一八四一m)である。毎年白山へは何千人という人が押し寄せるが、笈ガ岳に登頂できる人はかなり熟達した一握りのエキスパートだけである。

この山は白山の北方稜線の石川県と岐阜県の県境にある。未だ登山道がなく無雪期には猛烈な数こそなる。登頂には残雪期の限られたわずかな間に挑戦する以外には方法がない。しかも山頂に至るアプローチ

チがとても長く、一般的には山中でテント敷泊をしなければならぬ。かなりの体力も必要である。さらに道中に冬瓜山という山頂が剣の先のように両側とも切れ落ちた危険な難所が待ち受けているため、その困難さを助長している。

山の満喫できる。僕自身、この山の山頂からスキーで滑り降りることが念願であった。今年の三月の二度目の挑戦で、ようやくその念願が達成できた。まだ真つ暗な一里野温泉から自転車にまたがりスキーを担いで、白山自然保護センターに到着。ここからジライ谷を経由して道無き道をスキーを駆使して登り詰め、幾多の難所を乗り越えて登頂し、日帰りで下山した。出発から実に十三時間に及ぶ、厳しい限界に近い格闘だった。帰宅が夜遅くになったため、かみさんをお願いしてわてさせてしまったものだった。

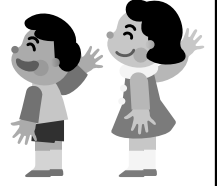
最近、この山にも登山道をつけようとする動きがあると聞いた。秘境の山はそれ故に価値があるのである。後世まで秘境であって欲しいと祈るような気持ちで願っている僕である。

子どもたちはなにか

現代保健室事情

養護教諭の複数配置を

小学校養護教諭 末友 雅子



「保健室は子どもたちのオアシス」と言われて久しい。連日、保健室には子どもたちが押し寄せる。かつては、休み時間に来た子どもが授業が始まれば波が引くように去って行ったが、近年はそうはいかない。心の中にある不満を吐き出した、訴えて分かってもらわないと戻れない子、心の痛みを体で訴え、何かの手当てをしてもらわない限り動かない子、という子、波が引く前に次の波が来るように次の休み時間を迎える。子どもたちのかかえる問題の多くは、成長、時間の経過とともに自然に解決したり、納得できたり(時には諦めたり)する。でも、目の前に苦しむ子を見た時、何か自分でできることは・・・と思い、一人ひとりの子に関わる時間が長くなってきている(聴くことが中心)。

カウンセラーの方から「時間を切ってください」「その人が自分で考える時間が必要です」とお聞きしたことがあるが、保健室の場合、「来る者は拒めず」で、次々と来る子を受け入れ、また、けが、病氣、心の問

[2002年反核・平和おりづる市民のつどい]にご参加ください!

ピース・デイ 7.28

主催/2002年反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会

わたしたちは、今年18回目の「反核・平和おりづる市民のつどい」を、平和を祈念する一日、ピースデイとして開催します。核兵器に反対し平和を願う多くの団体・個人・市民の参加をこころから呼びかけます。

■と き: 7月28日(日) 午前10時から

■と ころ: 金沢市卯辰山
玉兎ヶ丘原爆碑「平和の子ら」像 前広場

※追悼式典、平和のつどい、平和行進を連続して開催します。いづれかを選んで参加することもできます。

1. 追悼式典: 10時~10時30分
2. 平和のつどい: 10時30分~11時45分
3. 平和行進: 12時15分~12時45分
(東別院前→武蔵ヶ辻→中央公園)

★平和の子ら像・4周年記念
1998年8月9日に原爆犠牲者追悼碑(平和の子ら像)が建立されてから早くも4年がたちました。平和への願いを込めて、今年も、おりづるを持ち寄り、像の前をかざりましょう。

題、ひと息つきたいなど、いろいろな要求を持った子が同時に集中する難しさがあふれる。次々とさばくしかないというような時も多く、健康診断やその準備、その他の仕事が多くなっている。つい子どもたちにはイラついた態度、荒いことばをかけてしまい自己嫌悪に陥る。そんなバタバタした保健室でも「心が休まる」という子どもたち。中には保健室登校という形をとる場合もある。大人の価値観、大人の効率優先のシステムに異議申し立て

診したが、特別病名もつかず元気に登校。数日後、再び痙攣発作で倒れたもの。入院して診断と治療方針が示され、一旦退院。元気が顔を見せたのも束の間、状態が悪化し、原因不明のまま転院をくり返すことになってしまった。初期の対応はあれで良かったのか。救急車要請をもっと早くしていたらどうだったか・・・

など悶々とする毎日だった。結果的には診断名の変更、与薬中止で回復に向かい五カ月後復帰となったが、学校という教育の場での医学的判断がどこまで可能か、保健室の役割とは・・・、養護教諭に必要な力とは・・・と、悩みは今も続く。

悩みつつも日々の保健室で大波、小波にもまれている。養護教諭の複数配置により、一人で担う重さの軽減と、知恵を出し合える体制を願う。

先生?看護師さん? イエイエ 視能訓練士です!

その① 視能訓練士とは

浅ノ川総合病院眼科 視能訓練士 小笹 一枝

今回、新たなシリーズとして「視能訓練士とは、何ぞや?」「視能訓練士がいるとどうなるの?」など、12回にわたり紹介させていただくことになりました。一年間、どうぞよろしくお付き合いくださいませ。

日の眼を見ました記念すべき第一回目は、「視能訓練士とは?」をお伝えします。

◎視能訓練士は、1971年に制定された視能訓練士法、法律第64号に基づく国家資格をもった医療技術者です。現在4,610人(2001年4月調べ。毎年300人ほど合格予定)。ちなみに、石川県内では約30人が病医院で活躍しております。

◎仕事の内容は、眼科で医師の指示のもとに視機能検査とし視力、視野、眼圧、眼鏡、コンタクトレンズ検査、色覚、光覚、眼球運動眼位、瞳孔、涙液、涙道検査などの一般検査ほかに超音波検査、電気生理、写真撮影検査などを行います。また、斜視や弱視の訓練治療、弱視レンズの選定、指導などのロービジョン訓練にもたずさわっております。

◎視能訓練士の養成施設は、全国で16カ所あり、以前は免許取得の最短期間が1年でしたが、今般は3~4年と教育期間が伸びております。正確な検査結果が、適切な診断治療につながるよう専門的知識をしっかりと身に付けて社会へ出なくては、皆様の眼のお役に立てないということなのです。しかし、理論と実際は卒直後ではなかなか結びつかず、先生や、患者さんに不安を与えてしまいがちです。最近では、昔の「インターン制度」のようなものを取り入れ、卒後は、一時大学に身を置いたほうが良いのでは?という意見もあがっ

てきております。一人職場が多いので、無理からぬご意見、自分の若かりしころを思い出し、苦いような、甘いような気持ちがこみ上げてきております。

◎(社)日本視能訓練士協会とは、視能訓練士の資格所得者からなる団体で、1972年に日本視能訓練士協会として発足し、1981年には国際視能訓練士協会に加入しております。1988年に厚生省より法人認可されました。協会の目的は、視能訓練士の学術、技術の研鑽ならびに人格資質の陶冶に努め、視能訓練士の普及と発展を図って医療の向上に質することです。(社)日本視能訓練士協会リーフレット参照。

◎先生でもないし、看護師さんでもない。ましてや訓練士さんとも呼ばれない、一体何者? 名無しの私たち、きっと患者さんとも呼んでいいのか困っていらっしゃることでしょ? 当院前任の眼科部長、某眼科院長の浅井先生は、「検査の先生」という、なんとも素敵で、イカした名前を付けてくださいました・・・賛否両論かな!?

視覚について語り合いませんか

来る8月4日(日)、暑い真夏に熱い話し合いをしましょう。視覚に関心のある方なら誰でも参加OKです。内容は決まっておりません。日ごろ言いたかったこと、聞きたいこと、しまい込んでしまった思い等々、こんなこと聞いて大丈夫かな?と、思うようなこと、なお結構です。

どうぞ奮ってご参加ください。そして燃えるのです!!

◎出席してほしい方々: 視覚に障害のある方、ない方、行政、福祉、教育、医療関係者及び関係業者。

日時 2002年8月4日(日) 13:00~15:00

場所 浅ノ川総合病院3F講義室 (金沢市小坂町中83)

連絡 浅ノ川総合病院 眼科 電話 076-252-2101 FAX 076-252-2102

【会場案内図】

◎バス停/小坂中 ●電 車/東金沢駅

◎(主催)北陸眼科スタッフの会 ◎(共催)びあサポート

母性愛

栗野 利雄 (金沢市・内科)

会員リレーエッセイ

私の一生を総括する時、それは一口に申し上げれば、深い孤独とドキュメントに包まれた波瀾万丈の生涯ではなかったか。

生年は大正三年、戦争で始まり戦争で終わった二十世紀でありました。日本国中が軍靴の響きに色どられた軍国主義の一世紀でした。その真只中に生を享けたのが私です。

軍歌を子守歌として成人し、軍国調の流行歌は子どもの心に深く突き刺さりました。人生とは、この世におよばれに宴会に招かれた節があります。お客様に來て山海の珍珠に浸り、色々とご馳走の後、御

用を済ませば元の古巣に戻ってゆく酔っ払いのようなどころがある。何の未練もありません。私は兄弟姉妹のない一人息子でしたから、両親の愛情を一身に受け独占して来ました。おやつも分ける必要がありませんでしたから、ずいぶんわがままでした。

しかし、良いことばかりの温室育ちは長くは続きません。長ずるに及び世間の風当たりは変わり、徴兵という魔物が個人の自由を破壊する時代が來たのです。一人息子の特権はこの時失われました。海軍軍医の誘いが、わが家の親子関係を破壊しました。私の海軍行きの志望は母性愛により完全に打ち砕かれたのです。それ故にこそ私の今の全生涯が保障され、今に至っているのです。過言ではありません。

私はその後、私の意志に背いて陸軍に行くことを余儀なくされました。結果論から云えば、その時の母の決断が私の命を守っていたのです。その時海軍へ入った海軍委託生(軍医)の五人は、全員その後、大戦の露と消えたのです。母の母性本能的な一念の恐さと偉大さ、その洞察力の凄さ、母性愛の深さを今にして沁々と噛みしめている。

若いころは向こうみずで命を大切にしませんでした。戦争に征って死線を越えること四年間、復員して初めて自宅に帰り着き、敷居をまたいでくつろぐ間もなく、嫁を横目に母親はいきなり待ち切れない様子で私に向かって泣き伏した。

「女は弱しされど母親は強し」を実感した次第である。

音楽夜話

ポケットにひとにぎりの音楽を

【第五夜】私のお父さん

「フィレンツェ」と聞く「三部作」というやや風変わりな作品がある。互いに音楽が鳴りだす。どうしたものでしょうか、どうも僕は病気のようだ。

プッチーニのオペラに

「外套」、「修道女アンジェリカ」、「ジャンニ・スキッキ」がそれぞれのタイトルである。

プッチーニのオペラには人気がないのだが、この中でたった一曲のアリアが飛び抜けて有名になったため、そのオペラの題名も知られるようになったものがある。オペラ「ジャンニ・スキッキ」とアリア、O mio babino, caro (私のお父さん)である。その美しい旋律は一度聴くと耳を離れることはない。いさゝか酒に酔って帰った夜など部屋で一人静かにこれを聴くと、曲にまつわる思い出などまるで無いのに、僕は涙目になってしまふ。そんなわけで「ジャンニ・スキッキ」はいつのまにか僕のお気に入りのオペラとなっていました。

そのオペラの舞台がフィレンツェである。この春、仲間たちとイタリアの旅に出かけるときフィレンツェを訪れた。ミラノからの列車はトスカナの柔らかな日差しの中を飛ぶように走っていく。緩やかな起伏もつぼどう畑に目をやりながら、僕は耳の奥のメロディを意識を集中する。O mio babino, caro...《おお、わたしの優しいお父さま、あなたが好きなの、とても

すてきな人だから。それで、ポルタ・ロッサへ指輪を買いに行きたいの！でも、もし私の恋が虚しいものなら、ヴェッキオ橋からアルノ河に身を投げますわ！

私は悩み苦しんでいます。おお、神さま、死にたいくらい。お父さま、どうか、お願いですから！。ジャンニ・スキッキの娘ラウレツタが愛する若者リヌッチオとの結婚を父に哀願するメロディが何と昨日から僕の頭のドームに鳴り響いているのである。そして、その歌が僕をヴェッキオ橋へと誘っているのである。ラウレツタはどんな場所でも身を投げようと言うのか！

フィレンツェの五月一日はメーデーでもあり、昨日この街を埋め尽くしていた観光客は潮が引くように街を離れていった。祭りの後



のような静けさが漂う朝の通りを、僕と妻はゆっくりと歩いていった。ルネッサンスの香り高い建造物の隙間を抜けると突然目の前に緩やかな流れを持つアルノ河に行き当たった。そのアルノ河へ街の中央から一種独特な橋が延びていた。棟続きの小さな金銀細工宝飾店が両側にびっしりと載っている、そんな家付き橋がポルテ・ヴェッキオである。

橋の中央には広見があり、そこからアルノ河が見渡せ「なるほど、ラウレツタはここから身を投げると



北山 吉明 (金沢市・形成外科)

「外套」、「修道女アンジェリカ」、「ジャンニ・スキッキ」がそれぞれのタイトルである。

プッチーニのオペラには人気がないのだが、この中でたった一曲のアリアが飛び抜けて有名になったため、そのオペラの題名も知られるようになったものがある。オペラ「ジャンニ・スキッキ」とアリア、O mio babino, caro (私のお父さん)である。その美しい旋律は一度聴くと耳を離れることはない。いさゝか酒に酔って帰った夜など部屋で一人静かにこれを聴くと、曲にまつわる思い出などまるで無いのに、僕は涙目になってしまふ。そんなわけで「ジャンニ・スキッキ」はいつのまにか僕のお気に入りのオペラとなっていました。

そのオペラの舞台がフィレンツェである。この春、仲間たちとイタリアの旅に出かけるときフィレンツェを訪れた。ミラノからの列車はトスカナの柔らかな日差しの中を飛ぶように走っていく。緩やかな起伏もつぼどう畑に目をやりながら、僕は耳の奥のメロディを意識を集中する。O mio babino, caro...《おお、わたしの優しいお父さま、あなたが好きなの、とても

碁

■出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科) 黒番でどうなりますか。

(解答は3面にあります)

日時 9月15日 / ①10:00～、②13:30～

場所 石川県女性センター (三社町)

料金 前売り 1,000円 当日 1,300円

【主催団体】 “人間と性”教育研究協議会 石川支部 (代表 大下陸郎)

【問い合わせ先】 (事務局) 末友雅子 (自宅TEL) 076-263-0607 (夜間24時まで) (自宅FAX) 076-231-1619 (24時間自動受信) (勤務先TEL) 076-267-0564 (大徳小学校) (勤務先FAX) 076-268-7744 (大徳小学校)

【映画】

ろうしん **老親**

人は誰でも老いていきます。老いたら小さくなって生きなくてはならないのもおかしいし、介護する側がすべてを犠牲にしなくてはならないのもおかしいですね。

老人と若い人、女と男、家族、共に生きるとはどういうことなのでしょう。社会のありようから個の自立まで映画を観て親しい人と話してみませんか？

9月15日敬老の日、世代や職種を越えて多くの方々に！ チケットご希望の方、広めていただけの方、右記へご連絡下さい。